

和泉葛城山の昆虫（2010年度調査）

岩崎 拓（貝塚市立自然遊学館）

はじめに

天然のブナ林を有する和泉葛城山の山頂付近の昆虫相が温暖化によりどのような影響を受けるのかを記録にとどめるため、2008年度から定期的な調査を開始し、同年7月から10月にかけての計4回の調査で10目60科161種の昆虫が確認された（岩崎、2010）。その中には、大阪府レッドデータブック（大阪府、2000）で準絶滅危惧に指定されているエゾゼミ、テングオオヨコバイ、オニクワガタが含まれていた。これらの他にも、山地性の種として、アシグロツユムシ、テングアワフキ、オオトビサシガメ、トゲカメムシ、ツマジロカメムシ、ツノアオカメムシ、トホシカメムシなどを確認した。また、和歌山県側の草原に由来すると思われる「平地の草原でも見られる普通種」も多く確認された。

2009年度には4月から12月にかけて毎月1回の調査を行い、14目100科263種の昆虫が確認された（岩崎、2011）。上記の種以外では、大阪府レッドデータブックで準絶滅危惧に指定されているものとしてヒトコブササキリモドキとセダカテントウダマシ、および山地性の種としてニホントビナナフシとミヤマカメムシが確認された。

2010年度も昆虫相全般を対象にした調査を継続し、4月から12月まで毎月1回、現地調査を行った。なお、調査結果の簡単な速報は、貝塚市立自然遊学館が年4回発行する自然遊学館だよりのNo. 56～58で公表されている。

調査方法

2010年4月17日、5月18日、6月17日、7月20日、8月19日、9月16日、10月7日、11月5日、12月9日の計9回、雨でない日を選んで、調査を行った。和泉葛城山山頂付近（標高820～858m：MC51354314-15：図1）を約3時間かけて歩き回り、目視による任意採集を行った。目視で同定可能な種は記録するか写真撮影に留め、貝塚市立自然遊学館に標本のない種および近年に記録のない種を採集し、当館の所蔵標本とした。



図1. 山頂付近のブナ林 2010. 5. 18

結果および考察

4月から12月にかけての計9回の調査で確認された昆虫は13目92科235種、目ごとの種数は、トンボ目5種、バッタ目22種、カマキリ目1種、ナナフシ目1種、シロアリ目1種、チャタテムシ目2種、カメムシ目44種、アミメカゲロウ目2種、コウチュウ目66種、シリアゲムシ目4種、ハエ目28種、チョウ目34種、ハチ目25種であった（表1）。以下、主な目の結果について、簡単な解説を行った。

表1-1. 和泉葛城山山顶付近において2010年4月から12月にかけて確認された昆虫のリスト1
「○」印は成虫での確認、「△」印は幼虫での確認、「鳴」印は鳴き声での確認を、それぞれ示している。

目	科	種	学名	4月 17日	5月 18日	6月 17日	7月 20日	8月 19日	9月 16日	10月 7日	11月 5日	12月 9日
トンボ目	ムカシトンボ科	ムカシトンボ	<i>Epiophlebia superstes</i>		○							
		タイリクアカネ	<i>Sympetrum striolatum imitoides</i>			○						
		ミヤマアカネ	<i>Sympetrum pedemontanum elatum</i>					○				
バッタ目	コロギス科	アキアカネ	<i>Sympetrum frequens</i>							○		
		ウスバキトンボ	<i>Pantala flavescens</i>				○	○	○			
		ハネナシコロギス	<i>Nippancistroger testaceus</i>			△					○	
カマドウマ科	キリギリス科	コロギス	<i>Prosopogryllacris japonica</i>						△			
		マダラカマドウマ属の一種	<i>Diastrammena sp.</i>								△	
		ヤブキリ	<i>Tettigonia orientalis</i>	△				鳴				
ツユムシ科	ササキリモドキ科	キリギリス	<i>Gampsocleis buergeri</i>					鳴	鳴			
		ヒメギス	<i>Eobiana engelhardti subtropica</i>		△		○					
		ヒメクサキリ	<i>Ruspolia dubia</i>						○			
マツムシ科	ヒバリモドキ科	ササキリ	<i>Conocephalus melanus</i>									○
		ヤマクダマキモドキ	<i>Holochlora longifissa</i>									○
		アシタロツユムシ	<i>Phaneroptera nigroantennata</i>							○	○	
ヒバリモドキ科	ヒシバツバ科	ヒメツユムシ	<i>Leptotetrura albicornis</i>									○
		モリオカメオロギ	<i>Loxoblemmus sylvestris</i>							○	○	○
		アオマツムシ	<i>Trujalia hibionis</i>									○
ヒシバツバ科	ハツバツバ科	カンタン	<i>Oecanthus longicauda</i>									○
		マダラスズ	<i>Dianemobius nigrofasciatus</i>							鳴	鳴	鳴
		シバズ	<i>Polionemobius mikado</i>						鳴	鳴	鳴	
ヒシバツバ科	ハツバツバ科	クサヒバリ	<i>Svistella bifasciata</i>							鳴	鳴	
		ハレヒシバツバ	<i>Tetrix japonica</i>			○						
		ヤマトフキバツバ	<i>Parapodisma yamato</i>					○			○	○
カマキリ目	ナナフシ目	ナキイナゴ	<i>Mongolotettix japonicus</i>			○	○	○				
		ヒロバネヒナバツバ	<i>Stenobothrus fumatus</i>					○	○	○	○	○
		オオカマキリ	<i>Tenodera aridifolia</i>			△	△	△				○
シロアリ目	チャタテムシ目	エダナフシ	<i>Phraortes illepidus</i>		△	△						
		ヤマトシロアリ	<i>Reticulitermes speratus</i>									○
		スジチャタテ	<i>Psococerastis tokyoensis</i>									○
カマキリ目	セミ科	リンゴチャタテ	<i>Psocidus mali</i>									○
		エゾゼミ	<i>Tibicen japonicus</i>					○	鳴			
		ミンミンゼミ	<i>Oncotympana maculaticollis</i>									鳴
アワフキ目	アワフキ目	ニニイゼミ	<i>Platypleura kaempferi</i>					鳴	鳴			
		ツクツクボウシ	<i>Meimuna opalifera</i>									鳴
		ヒグラシ	<i>Tanna japonensis</i>						鳴・羽化聲	鳴		
アワフキ目	アワフキ目	ハルゼミ	<i>Terposia vacua</i>					鳴	鳴			
		テッチゼミ	<i>Cicadetta radiator</i>							鳴	鳴	
		ミヤマアワフキ	<i>Peuceptelys nigroscutellatus</i>		○				○	○	○	○
アワフキ目	アワフキ目	マダラアワフキ	<i>Awafukia nawae</i>									○
		ヒメシロアワフキ	<i>Aphrophora obliqua</i>						○			
		コガシラアワフキ	<i>Euscartopsis assimilis</i>									○
アワフキ目	アワフキ目	シダヨコバイ	<i>Japanagallia pteridis</i>	○								
		テングオオヨコバイ	<i>Tengirhinus tengu</i>			○						
		ツマグラオオヨコバイ	<i>Bothrogonia ferruginea</i>									○
アワフキ目	アワフキ目	セグロアオズキンヨコバイ	<i>Iassus dorsalis</i>									○
		オビヒメヨコバイ	<i>Naratetix zonatus</i>									○
		オヌキヨコバイ	<i>Onukia onukii</i>							○		○
アワフキ目	アワフキ目	フチヒシウカ	<i>Triphacus sp.</i>		○							
		イタドリマダラキジラミ	<i>Aphalara itadori</i>									○
		カエデキジラミ	<i>Psylla japonica</i>		○	○		○				
アワフキ目	アワフキ目	ベニキジラミ	<i>Psylla coccinea</i>									○
		クビアカサシガメ	<i>Reduvius humeralis</i>					○				
		ヨコヅナサシガメ	<i>Agriosphodrus dohrni</i>									△
アワフキ目	アワフキ目	ケブカカスミカメ	<i>Tingitotum perlatum</i>		○							○
		クロハカスミカメ	<i>Lygocoris nigrilulus</i>									○
		アワダチソウゲンバイ	<i>Corythucha marmorata</i>									○
アワフキ目	アワフキ目	セアカツノカメムシ	<i>Acanthosoma denticaudum</i>					○	○			○
		ハサミツノカメムシ	<i>Acanthosoma labiduroides</i>									○
		ヒメツノカメムシ	<i>Elasmucha putoni</i>		○							
アワフキ目	アワフキ目	アオモンツノカメムシ	<i>Dichobothrium nubilum</i>						○			
		ヒメツツカメムシ	<i>Chilocoris picus</i>			○						
		クサギカメムシ	<i>Halymorpha picus</i>									△
アワフキ目	アワフキ目	ツノアオカメムシ	<i>Pentatoma japonica</i>					○	○			
		エゾアオカメムシ	<i>Palomena angulosa</i>									○
		ツマジロカメムシ	<i>Menida violacea</i>									○
アワフキ目	アワフキ目	ヨツボシカメムシ	<i>Homalogenia obtusa</i>									○
		マルカメムシ	<i>Megacopta punctatissima</i>									○
		クヌギカメムシ科	<i>Urochela luteovaria</i>									○
アワフキ目	アワフキ目	ナシカメムシ	<i>Picocoris varius</i>			○						
		オオメカメムシ	<i>Nysius sp.</i>							○	○	○
		ホソヘリカメムシ科	<i>Paraplesius unicolor</i>					○				○
アワフキ目	アワフキ目	ヘリカメムシ科	<i>Moligterix fuliginosa</i>									△
		オオツマキヘリカメムシ	<i>Hygia lativentris</i>									○
		ハリカメムシ	<i>Cletus rusticus</i>									○
アワフキ目	アワフキ目	ホソハヒメカゲロウ	<i>Micromus multipunctatus</i>									○
		カスリヒロバカゲロウ	<i>Spilosmylus nipponensis</i>									○
		アワフキ目	<i>Cicindela japana</i>			○						
アワフキ目	アワフキ目	オオヒラタゴミムシ	<i>Platynus magnus</i>									○
		オオヒラタアトキリゴミムシ	<i>Parena laesipennis</i>									○
		フタホシアトキリゴミムシ	<i>Lebia bifenestrata</i>									○
アワフキ目	アワフキ目	ホソアトキリゴミムシ	<i>Dromius prolixus</i>									○
		コハラカモリヒラタゴミムシ	<i>Colpodes lampros</i>									○
		ヤマトオサムシ	<i>Carabus yamato</i>									○
アワフキ目	アワフキ目	イワウキオサムシ	<i>Carabus iwawakianus iwawakianus</i>									○
		サビハネカクシ	<i>Ontholestes gracilis</i>									○
		コアリガタハネカクシ	<i>Megalopaederus lewisi</i>									○
アワフキ目	アワフキ目	キロハナムグリハネカクシ	<i>Eusphalerum parallelum</i>	○								○
		エグリチオキノコムシ	<i>Scaphidium emarginatum</i>									○
		クワガタムシ科	<i>Macrodercas striatipennis</i>									○
アワフキ目	アワフキ目	スジクワガタ	<i>Macrodercas striatipennis</i>									○
		マメコガネ	<i>Popillia japonica</i>									○
		クワガタムシ科	<i>Phyllopertha irregularis</i>									○

表1-2. 和泉葛城山山頂付近において2010年4月から12月にかけて確認された昆虫のリスト2
「○」印は成虫での確認、「△」印は幼虫での確認を、それぞれ示している。

目	科	種	学名	4月 17日	5月 18日	6月 17日	7月 20日	8月 19日	9月 16日	10月 7日	11月 5日	12月 9日	
コウチュウ目	ホソクシヒゲムシ科	ムネアカクシヒゲムシ	<i>Horatocera niponica</i>				○						
		コメツキムシ科	クロナヤクシコメツキ	<i>Melanotus annosus</i>			○						
			アカハラクシコメツキ	<i>Ampedus hypogastricus hypogastricus</i>				○					
	ベニボタル科	シモフリコメツキ	<i>Actenicerus prunosus</i>			○							
		ムラサキヒメカネコメツキ	<i>Kibunea eximia</i>				○						
		ヒメキマダラコメツキ	<i>Gamepenthes similis</i>				○						
	ホタル科	クシヒゲベニボタル	<i>Macrolycus flabellatus</i>			○	○						
		ヒシベニボタル	<i>Dictyoptera gorhami</i>	○									
	ジョウカイボン科	オオオハボタル	<i>Lucidina accensa</i>				○						
		ウスチヤジョウカイ	<i>Athemellus insulsi</i>			○							
		ジョウカイボン	<i>Athemus suturellus</i>			○							
	カッコウムシ科	セボンジョウカイ	<i>Athemus vitellinus</i>			○							
クワイロジョウカイ		<i>Stenothemus badius</i>				○							
モンサビカッコウムシ		<i>Neoclerus omatulus</i>				○							
ケシキスイ科	キイロセマルケシキスイ	<i>Cychnramus dorsalis</i>			○								
	オオキノコムシ科	カタモンオオキノコ	<i>Aulacochilus japonicus</i>						○				
	テントウムシ科	シロホシテントウ	<i>Vibidia duodecimguttata</i>							○	○		
オオハナノミ科	コクロヒメテントウ	<i>Scymnus posticalis</i>			○								
	オオハナノミ	<i>Pelecotomoides tokeji</i>				○							
	ゴミムシダマシ科	キマワリ	<i>Plesiophthalmus nigrocyanus</i>				○	○					
アリモドキ科	クロホシテントウゴミムシダマシ	<i>Derispia maculipennis</i>				○	○						
	カミキリムシ科	クロツヤハネクチキムシ	<i>Hymenalia unicolor</i>				○						
	アカソアアリモドキ	<i>Anthicus fugiens</i>			○								
ハムシ科	オオクワカミキリ	<i>Megasemum quadricostulatum</i>					○						
	マルガタハナカミキリ	<i>Judolia cometes</i>					○						
	ウスイロカミキリ	<i>Xylotrechus cuneipennis</i>					○						
	アカクビソハマシ	<i>Lema diversa</i>						○					
	キアザリツツハマシ	<i>Cryptocephalus fortunatus</i>					○						
	クビアオハマシ	<i>Agelasa nigriceps</i>					○						
	ウリハマシ	<i>Aulacophora femoralis</i>					○						
	クワウリハマシ	<i>Aulacophora nigripennis</i>						○					
	ムナグロツツハマシ	<i>Arthrotus niger</i>					○						
	ズグロキハマシ	<i>Gastrolinoidea japonicus</i>					○						
	リンゴコフキハマシ	<i>Lypesthes ater</i>					○						
	ツブノミハマシ	<i>Aphthona perminuta</i>	○	○						○			
キイロタマノミハマシ	<i>Sphaeroderma unicolor</i>					○							
フタイロセマルトビハマシ	<i>Aphthonomorpha collaris</i>								○	○			
アラハダトビハマシ	<i>Zipangia lewisii</i>					○							
ヒゲナガゾウムシ科	イチモンジカメノコハマシ	<i>Thaspidea cribrata</i>			○								
	キノヒゲナガゾウムシ	<i>Euparius oculatus oculatus</i>							○				
	オトシブミ科	ルリオトシブミ	<i>Euops punctatostriatus</i>				○						
オトシブミ科	カシリオトシブミ	<i>Euops politus</i>				○							
	イタヤハマキチョッキリ	<i>Byctiscus venustus</i>				○							
	ミヤマクビチョッキリ	<i>Deporaus nidificus</i>				○							
ホソクチゾウムシ科	クチチチョッキリ	<i>Lasiorynchites brevisstris</i>	○										
	エゴツルクビオトシブミ	<i>Cydnotrachelus roelofsi</i>				○							
	ヒゲナガホソクチゾウムシ	<i>Apioa placidum</i>							○				
ゾウムシ科	マツアナキゾウムシ	<i>Hylobitelus haroldi</i>				○							
	トゲアシゾウムシ	<i>Anosimus decoratus</i>							○				
	ヒゲトクチフトゾウムシ	<i>Mylocerus abnormalis</i>				○							
オサゾウムシ科	オサゾウムシ	<i>Sipalinus gigas</i>				○							
	シリアゲムシ目	ヤマトシリアゲ	<i>Panorpa japonica</i>				○						
	シリアゲムシ科	フライシリアゲ	<i>Panorpa pryeri</i>				○						
ハエ目	キアシシリアゲ	<i>Panorpa wormaldi</i>				○							
	キリシマシリアゲ	<i>Panorpa kirisimaensis</i>	○										
	シギアブ科	シギアブ科の一種	gen. et sp.				○						
アブ科	ウシアブ	<i>Tabanus trigonus</i>				○	○						
	ムシヒキアブ科	ハタケヤマヒゲボソムシヒキ	<i>Gyrpocotonus hatakeyamae</i>								○		
	ヒサマツムシヒキ	<i>Tolmerus hisamatsui</i>									○		
オドリバエ科	マグリケムシヒキ	<i>Neoitamus angusticornis</i>					○						
	オドリバエ科の一種	<i>Neoitamus sp.</i>					○						
	オドリバエ科	ネウスオドリバエ	<i>Empis flavobasalis</i>			○							
アシナガバエ科	アシナガバエ科	マダラアシナガバエ	<i>Psilopus nebulosus</i>				○						
	ハナアブ科	オオハナアブ	<i>Phytomia zonata</i>				○						
	ナミハナアブ	<i>Eristalis tenax</i>				○							
ハナアブ科	ヨツボシヒラタアブ	<i>Xanthandrus comtus</i>									○		
	キイロナミホシヒラタアブ	<i>Syrphus vitripennis</i>									○		
	シマハナアブ	<i>Eristalis cerealis</i>				○							
ミバエ科	ホソヒラタアブ	<i>Episyrphus balteatus</i>							○				
	ホソヒメヒラタアブ	<i>Sphaerophoria macrogaster</i>				○			○				
	キアシマメヒラタアブ	<i>Paragus haemorrhous</i>	○										
ベッコウバエ科	アリノスアブ	<i>Microdon japonicus</i>				○							
	ハルササハマダラミバエ	<i>Paragastrozona japonica</i>				○							
	ベッコウバエ	<i>Dryomyza formosa</i>							○				
シマバエ科	ヒラヤマシマバエ	<i>Homoneura hirayamae</i>						○	○	○			
	シモフリシマバエ	<i>Homoneura euaresta</i>						○					
	フンバエ科	ヒメフンバエ	<i>Scatophaga stercoraria</i>			○							
イエバエ科	キアシフンバエ	<i>Scathophaga mellipes</i>								○			
	イエバエ科の一種	gen. et sp.				○							
	クロバエ科	オオクロバエ	<i>Calliphora lata</i>			○							
ヤドリバエ科	マルボシハナバエ	<i>Gymnosoma rotundata</i>				○							
	ヨコジマオオハリバエ	<i>Servilla amurensis</i>							○				
	ヤドリバエ科の一種	gen. et sp.							○				
チョウ目	アゲハチョウ科	カラスアゲハ	<i>Papilio bianor dehaani</i>						○				
	オナガアゲハ	<i>Papilio maclintus</i>				○							
	モンキアゲハ	<i>Papilio helenus nicconicolens</i>							○				
シロチョウ科	モンキチョウ	<i>Ooias erate poligraphus</i>			○	○							
	スジグロシロチョウ	<i>Pieris melete</i>				○	○	○					
	キチョウ	<i>Eurema hecabe hecabe</i>				○	○	○	○	○	○		
タテハチョウ科	ミドリヒョウモン	<i>Argynnis paphia</i>				○	○		○				
	ツマグロヒョウモン	<i>Argyreus hyperbius hyperbius</i>							○				
	クロヒカゲ	<i>Lethe diana diana</i>				○		○					
ジャメチョウ	<i>Minois dryas</i>							○					

表1-3. 和泉葛城山山頂付近において2010年4月から12月にかけて確認された昆虫のリスト3
「○」印は成虫での確認、「△」印は幼虫での確認を、それぞれ示している。

目	科	種	学名	4月 17日	5月 18日	6月 17日	7月 20日	8月 19日	9月 16日	10月 7日	11月 5日	12月 9日	
チョウ目	タテハチョウ科	キタテハ	<i>Polygonia c-areum</i>									○	
		サカハチチョウ	<i>Araschnia burejana</i>					○					
		アサギマダラ	<i>Parantica sita nipponica</i>					○					
		テングチョウ	<i>Libythea celtis celtoides</i>			○	○						
	シジミチョウ科	ルリシジミ	<i>Celastrina argiolus ladonides</i>					○					
		ヤクシマルリシジミ	<i>Celastrina puspa ishigakiana</i>					○					
		ヤマシジミ	<i>Zizeeria maha argia</i>						○	○	○		
		ベニシジミ	<i>Lycaena phlaeas daimio</i>				○	○					
	セセリチョウ科	ウラナシジミ	<i>Lampides boeticus</i>							○			
		キマダラセセリ	<i>Potanthus flavum flavum</i>					○					
		イチモンジセセリ	<i>Parnara guttata guttata</i>					○					
	ヒゲナガガ科	ダイミョウセセリ	<i>Daimio tethys</i>			○							
		ホソオビヒゲナガ	<i>Nemophora aurifera</i>			○							
	シャクガ科	シロオビフユシヤク	<i>Alsophila japonensis</i>										○
		ウスハミスジエダシヤク	<i>Hypomecis punctinalis conferenda</i>						○				
		ウスオビヒメエダシヤク	<i>Euchristophia cumulata</i>						○				
		クロハグルマエダシヤク	<i>Synechia esther</i>						○				
		ギリバネホソナミシヤク	<i>Brabira artemidera</i>			○							
		アゲハモドキ	<i>Psychostrophila melanargia</i>				○	○					
		シャチホコガ科	コフタバシヤチホコ	<i>Gluphisia crenata japonica</i>				○					
ドクガ科		ゴマフリドクガ	<i>Euproctis pulverea</i>						△				
		キドクガ	<i>Euproctis piperita</i>										△
ヤガ科		アメリンガ	<i>Sinna extrema</i>		○								
	ナカグロクチバ	<i>Grammodes geometrica</i>								○			
ハチ目	ハバチ科	ウモンクロハバチ	<i>Macrophya fascipennis</i>		○								
		ニホンカブラハバチ	<i>Athalia japonica</i>		○								
ヒメバチ科	ツマジロツギハバチ	<i>Asiemphytus albilabris</i>							○				
	コンボウアメバチ亜科の一種	gen. et sp.			○								
ベッコウバチ科	アリバチモドキ	<i>Myrmosa nigrofasciata</i>						○					
	ヤドリベッコウ	<i>Xanthampulex permix</i>						○					
スズメバチ科	キロスズメバチ	<i>Vespa similima xanthoptera</i>								○			
	ホンアシナガバチ	<i>Parapolybia indica indica</i>		○									
アリ科	テラニシリアゲアリ	<i>Crematogaster teranishii</i>		○									
	ムネアカオアリ	<i>Camponotus obscuripes</i>		○	○	○	○	○					
	クロオアリ	<i>Camponotus japonicus</i>		○	○	○	○	○	○	○			
	ウマツオアリ	<i>Camponotus tokioensis</i>		○	○	○	○	○	○		○		
	クロヤマアリ	<i>Formica japonica</i>		○	○	○	○	○	○	○	○		
	クサアリモドキ	<i>Lasius spathepus</i>				○							
	トビイロケアリ	<i>Lasius japonicus</i>			○							○	
	アメイロアリ	<i>Paratrechina flavipes</i>		○			○	○	○	○	○		
	アミメアリ	<i>Pristomyrmex pungens</i>					○		○				
	トビイロシワアリ	<i>Tetramorium tsushimae</i>								○			
	オオシワアリ	<i>Tetramorium bicarinatum</i>		○	○	○	○	○	○		○		
	ヤマトアシナガアリ	<i>Aphaenogaster japonica</i>		○									
	アナバチ科	ツチスガリ	<i>Cerceris hortivaga hortivaga</i>				○						
		クマバチ	<i>Xylocopa appendiculata circumvolans</i>				○						
	ミツバチ科	ニホンミツバチ	<i>Apis cerana</i>		○								
		オオマルハナバチ	<i>Bombus hypocrita hypocrita</i>					○					
	コマルハナバチ	<i>Bombus ardens ardens</i>	○	○									

トンボ目

大阪府レッドデータブックで準絶滅危惧に指定されているムカシトンボが5月18日に確認された(図2)。近木川上流域での水生昆虫調査では、ムカシトンボの幼虫が比較的多数確認されていて(山田・岩崎、2001など)、成虫も上流域で確認されているが、山頂での記録は少なかった。ミヤマアカネ(図3)はこれまで木積の畑での記録が多く、その他、山頂や蕎原箱谷での記録が少しあった程度である。

バッタ目

大阪府レッドデータブックで準絶滅危惧に指定されているヒトコブササキリモドキが7月20日と8月19日に確認された(図4)。2009年度の調査と同じく、個体数が多く確認され、安定的に生息しているものと考えられる。ヒメクササキは2008年の調査で初めて確認された種だが、2009年の調査に引き続き、今回の調査でも9月16日に確認された。

カメムシ目

大阪府レッドデータブックの指定種では、準絶滅危惧のエゾゼミの鳴き声が7月20日と8月19日に確認され、7月20日には弱った成虫を遊歩道の木柵上で採集した(図5)。同じく準絶滅危惧のテングオオヨコバイは、6月17日に確認された(図6)。また山地性の種として、ヨツボシカメムシ、ツマジロカメムシ、エゾアオカメムシ、ツノアオカメムシが確認された。10月7日に確認されたヨツボシカメムシは、これまで自然遊学館に標本がなかった種である。

コウチュウ目

大阪府レッドデータブックで準絶滅危惧に指定されているオニクワガタとセダカテントウダマシは、以前の調査で確認されたことがあるが、今回の調査では確認されなかった。図7は、これまで自然遊学館に標本がなかったカタモンオオキノコである。



図2. ムカシトンボ
2010. 5. 18



図3. ミヤマアカネ
2010. 8. 19



図4. ヒトコブササキリモドキ
2010. 7. 20



図5. エゾゼミ
2010. 7. 20



図6. テングオオヨコバイ
2010. 6. 17



図7. カタモンオオキノコ
2010. 9. 16

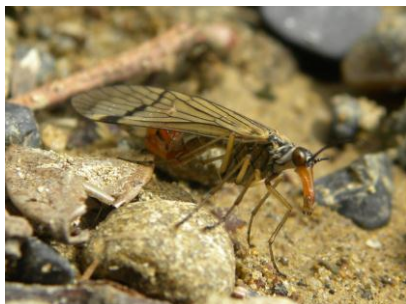


図8. キリシマシリアゲ
2010. 4. 17



図9. ダイミョウセセリ
2010. 6. 17



図10. シロオビフユシャク
2010. 12. 9

シリアゲムシ目

4月17日に確認されたキリシマシリアゲは、1994年以来の確認となった(図8)。また、6月17日に確認されたキアシシリアゲは、2010年4月28日の近木川の本谷から入る宿ノ谷において別の調査で確認されたのが自然遊学館の記録としては最初で、それに次ぐ記録となった。

チョウ目

34種のうち、チョウ類が22種で、ガ類が12種であった。写真はダイミョウセセリ(図9)とシロオビフユシャク(図10)を示した。

2008年度からの調査において確認された大阪府レッドデータブックの指定種、および注目される種を表2にまとめた。次年度以降も継続して調査を行い、これらの種の生息の確認と新たな種の発見につとめたい。

表2. 和泉葛城山山頂付近において2008年から2010年にかけて行われた調査で確認された大阪府レッドリスト種および注目種

項目	目	科	種	学名	2008年	2009年	2010年
大阪府レッドリスト種 (準絶滅危惧)	トンボ目	ムカシトンボ科	ムカシトンボ	<i>Epiophlebia superstes</i>			○
	バッタ目	ササキリモドキ科	ヒトコブササキリモドキ	<i>Tettigoniopsis kongozanensis kongozanensis</i>		○	○
	カメムシ目	セミ科	エゾゼミ	<i>Tibicen japonicus</i>	○	○	○
			テングオオヨコバイ	<i>Tengirhinus tengu</i>	○		○
	コウチュウ目	クワガタムシ科	オニクワガタ	<i>Prismognathus angularis angularis</i>	○		
セダカテントウダマシ科			セダカテントウダマシ	<i>Bolbomorphus gibbosus</i>		○	
注目種	トンボ目	トンボ科	ミヤマアカネ	<i>Sympetrum pedemontanum elatum</i>			○
	バッタ目	キリギリス科	ヒメクササキ	<i>Ruspolia dubia</i>	○	○	○
			カヤコオロギ	<i>Euscirtus japonicus</i>	○		
	ナナフシ目	ナナフシ科	ニホントビナナフシ	<i>Micadina phluctainoides</i>		○	
	カメムシ目	セミ科	ハルゼミ	<i>Terpnosia vacua</i>	○	○	○
			テングアワフキ	<i>Philagra albinotata</i>	○		
			オオトビサシガメ	<i>Isyndus obscurus</i>	○	○	
			ツノアオカメムシ	<i>Pentatoma japonica</i>	○	○	○
			エゾアオカメムシ	<i>Palomena angulosa</i>			○
			トゲカメムシ	<i>Carbula humerigera</i>	○	○	
			ツマジロカメムシ	<i>Menida violacea</i>	○	○	○
			ミヤマカメムシ	<i>Hermolaus amurensis</i>		○	
			トホシカメムシ	<i>Lelia decempunctata</i>	○	○	
			ヨツボシカメムシ	<i>Homalagonia obtusa</i>			○
	コウチュウ目	オサムシ科	コルリアトキリゴミムシ	<i>Lebia viridis</i>	○		
			ミヤマクワガタ	<i>Lucanus maculiformoratus</i>	○	○	
			ハスジゾウムシ	<i>Cleonus japonicus japonicus</i>	○		
	ハチ目	スズメバチ科	シダクロスズメバチ	<i>Vespa shidai</i>	○	○	
			ミツバチ科	オオマルハナバチ	<i>Bombus hypocrita hypocrita</i>		

謝辞

標本整理に協力していただいた岡田恵太郎、山本直の各氏に謝意を表す。

引用文献

岩崎 拓 (2010) 和泉葛城山の昆虫 (2008年度調査). 貝塚の自然 第12号: 41-45.
 岩崎 拓 (2011) 和泉葛城山の昆虫 (2009年度調査). 貝塚の自然 第13号: 88-94.
 大阪府 (2000) 「大阪府における保護上重要な野生生物 ー大阪府レッドデータブックー」. 442pp.